



# Red Hat OpenStack Platform 16.0

## オーバークラウド用の外部ロードバランサー

外部ロードバランサーを使用するように OpenStack Platform 環境を設定する



# Red Hat OpenStack Platform 16.0 オーバークラウド用の外部ロードバランサー

---

外部ロードバランサーを使用するように OpenStack Platform 環境を設定する

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/External\_Load\_Balancing\_for\_the\_Overcloud.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

本ガイドでは、Red Hat OpenStack Platform 環境をオーバークラウド用に外部ロードバランサーを使用するように設定する方法について説明します。これには、OpenStack Platform director を使用したオーバークラウドのロードバランサーおよび設定ガイドラインが含まれます。

## 目次

<b>第1章 はじめに</b> .....	<b>3</b>
1.1. オーバークラウドでの負荷分散の使用	3
1.2. サンプルシナリオの定義	3
<b>第2章 デフォルト設定の定義</b> .....	<b>5</b>
2.1. グローバル設定	5
2.2. デフォルト設定	5
2.3. サービスの設定	6
<b>第3章 サービス設定のリファレンス</b> .....	<b>7</b>
3.1. AODH	7
3.2. CEILOMETER	7
3.3. CINDER	8
3.4. GLANCE_API	8
3.5. GLANCE_REGISTRY	9
3.6. GNOCCHI	9
3.7. HEAT_API	9
3.8. HEAT_CFN	10
3.9. HEAT_CLOUDWATCH	10
3.10. HORIZON	11
3.11. KEYSTONE_ADMIN	11
3.12. KEYSTONE_ADMIN_SSH	12
3.13. KEYSTONE_PUBLIC	12
3.14. MYSQL	12
3.15. NEUTRON	13
3.16. NOVA_EC2	14
3.17. NOVA_METADATA	14
3.18. NOVA_NOVNCPROXY	14
3.19. NOVA_OSAPI	15
3.20. NOVA_PLACEMENT	15
3.21. PANKO	16
3.22. REDIS	16
3.23. SWIFT_PROXY_SERVER	17
<b>第4章 オーバークラウドの設定</b> .....	<b>18</b>
4.1. 環境の設定	18
4.1.1. stack ユーザーの初期化	18
4.1.2. ノードの登録	18
4.1.3. ノードのハードウェアの検査	19
4.1.4. ノードの手動でのタグ付け	20
4.2. ネットワークの設定	20
4.2.1. ネットワークの分離	20
4.2.2. ロードバランシングオプションの設定	22
4.3. ロードバランシング用の SSL の設定	23
4.4. オーバークラウドの作成	25
4.5. オーバークラウドへのアクセス	26
4.6. オーバークラウド設定の完了	26
<b>付録A HAPROXY のデフォルト設定例</b> .....	<b>28</b>



## 第1章 はじめに

Red Hat OpenStack Platform director は、**オーバークラウド**と呼ばれるクラウド環境を作成します。オーバークラウドには、特定のロールを実行するノード種別のセットが含まれます。これらのノード種別の1つが**コントローラーノード**です。コントローラーはオーバークラウドの管理を行い、特定の OpenStack コンポーネントを使用します。オーバークラウドは、複数のコントローラーを合わせて、高可用性クラスターとして使用し、OpenStack サービスのオペレーションパフォーマンスを最大限に保つようにします。さらに、クラスターにより、OpenStack サービスへのアクセスの負荷分散が行われ、コントローラーノードに均等にトラフィックを分配して、各ノードのサーバーで過剰負荷を軽減します。

また、外部のロードバランサーを使用して、この分散を実行することも可能です。たとえば、組織で、コントローラーノードへのトラフィックの分散処理に、ハードウェアベースのロードバランサーを使用する場合などです。本ガイドでは、外部ロードバランサーとオーバークラウドの作成の両方の設定を定義するのに役立つ必要な情報を提供します。これには、以下のプロセスが含まれます。

1. **ロードバランサーのインストールと設定**: 本ガイドでは、負荷分散およびサービス用の HAProxy オプションをいくつか紹介します。設定を独自の外部ロードバランサーと同等のに変換します。
2. **オーバークラウドの設定およびデプロイメント**: 本ガイドには、オーバークラウドの外部ロードバランサーとの統合に役立つ Heat テンプレートのパラメーターが複数含まれています。これには主に、ロードバランサーの IP アドレスと潜在的なノードの IP アドレスが含まれます。本ガイドには、オーバークラウドのデプロイメントを起動するコマンドや、外部ロードバランサーを使用するための設定も含まれます。

### 1.1. オーバークラウドでの負荷分散の使用

オーバークラウドは、**HAProxy**と呼ばれるオープンソースツールを使用します。HAProxy は、OpenStack サービスを実行しているコントローラーノードへのトラフィックの負荷分散を行います。**haproxy** パッケージには、**haproxy systemd** サービスから起動される haproxy デーモンと、ログイン機能やサンプルの設定が含まれます。ただし、オーバークラウドは高可用性リソースマネージャー (Pacemaker) を使用して、高可用性サービス(haproxy-clone)として HAProxy 自体も制御します。これは、HAProxy が各コントローラーノードで実行され、各設定で定義される一連のルールに従ってトラフィックを分散することを意味します。

### 1.2. サンプルシナリオの定義

この記事では、例として以下のシナリオを使用しています。

- HAProxy を使用する外部読み込み用サーバー。これは、フェデレーションされた HAProxy サーバーを使用する方法を示しています。これをサポートされている別の外部ロードバランサーに置き換えることができます。
- OpenStack Platform director ノード 1 台
- 以下で構成されるオーバークラウド
- 高可用性クラスター内のコントローラーノード 3 台
- 1 コンピュートノード
- VLAN を使用したネットワーク分離

このシナリオでは、各ネットワークに以下の IP アドレスの割り当てを使用します。

- Internal API: 172.16.20.0/24
- Project: 172.16.22.0/24
- ストレージ : 172.16.21.0/24
- ストレージ管理 : 172.16.19.0/24
- External: 172.16.23.0/24

これらの IP 範囲には、コントローラーノードおよびロードバランサーが OpenStack サービスにバインドする仮想 IP に対する IP 割り当てが含まれます。



## 第2章 デフォルト設定の定義

外部のロードバランサーを使用せずにオーバークラウドを作成して設定する場合には、director はトラフィックを複数の OpenStack サービスに分散するように HAProxy を設定します。director は、この設定を各コントローラーノードの `/etc/haproxy/haproxy.conf` ファイルに提供します。デフォルト設定には、`global`、`default`、および複数のサービス設定の3つの主要部分が含まれます。

次の数セクションでは、各設定セクションのデフォルトのパラメーターについて説明します。ここでは、外部ロードバランサーをインストールおよび設定するための設定例を説明します。これらのパラメーターは、合計の HAProxy パラメーターの一部のみであることに注意してください。これらのパラメーターおよびその他のパラメーターの詳細は、コントローラーノード（または `haproxy` パッケージがインストールされているシステム）の `/usr/share/doc/haproxy-*/configuration.txt` にある「HAProxy 設定マニュアル」を参照してください。

### 2.1. グローバル設定

```
global
  daemon
  group haproxy
  log /dev/log local0
  maxconn 10000
  pidfile /var/run/haproxy.pid
  user haproxy
```

このセクションでは、プロセス全体のパラメーターのセットを定義します。これには、以下のパラメーターが含まれます。

- **デーモン:** バックグラウンドプロセスとして実行します。
- **ユーザー haproxy、グループ haproxy:** プロセスを所有する Linux ユーザーおよびグループを定義します。
- **Log:** 使用する syslog サーバーを定義します。
- **maxconn:** プロセスへの同時接続の最大数を設定します。
- **pidfile:** プロセス ID に使用するファイルを設定します。

### 2.2. デフォルト設定

```
defaults
  log global
  mode tcp
  retries 3
  timeout http-request 10s
  timeout queue 1m
  timeout connect 10s
  timeout client 1m
  timeout server 1m
  timeout check 10s
```

このセクションでは、各サービスのデフォルトパラメーターセットを定義します。これには、以下のパラメーターが含まれます。

- **Log:** サービスのロギングを有効にします。**グローバル** 値は、ロギング関数が **global** セクションの **log** パラメーターを使用することを意味します。
- **Mode:** 使用するプロトコルを設定します。ここでは、デフォルトは TCP です。
- **retries:** 接続の障害を報告する前にサーバーで実行する再試行の数を設定します。
- **timeout:** 特定の関数について待機する最大時間を設定します。たとえば、**timeout http-request** は、完全な HTTP 要求を待つ最大の時間を設定します。

## 2.3. サービスの設定

```
listen ceilometer
bind 172.16.20.250:8777
bind 172.16.23.250:8777
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

デフォルトのファイルには、複数のサービス設定セクションがあります。各サービス設定には以下が含まれます。

- **listen:** 要求をリッスンするサービスの名前
- **bind:** サービスがリッスンする IP アドレスおよび TCP ポート番号
- **server:** サービスを提供する各サーバー名、サーバーの IP アドレス、リッスンするポート、その他の情報

上記の例では、**ceilometer** サービスの HAProxy 設定を示しています。このサービスは、**ceilometer** サービスが提供する IP アドレスとポートを特定します（ポート 8777 は 172.16.20.250 および 172.16.23.250）。HAProxy はこれらのアドレスに対する要求を **overcloud-controller-0** (172.16.20.150:8777)、**overcloud-controller-1**(172.16.20.151:8777)、または **overcloud-controller-2** (172.16.0.152:8777)に転送します。

さらに、**サーバー** パラメーターの例では、以下を有効にします。

- **チェック:** ヘルスチェックの有効化
- **fall 5:** ヘルスチェックに 5 回失敗すると、サービスは停止中とみなされます。
- **inter 2000:** 連続する 2 つのヘルスチェックの間隔は 2000 ミリ秒（または 2 秒）に設定されません。
- **増加 2:** ヘルスチェックが 2 回成功すると、サーバーは動作とみなされます。

各サービスは異なるネットワークトラフィックタイプを表す異なるアドレスにバインドします。サービスによっては、追加の設定オプションも含まれているものもあります。次章では、外部ロードバランサーでこれらの詳細を複製できるように、それぞれの特定のサービス設定について説明します。

## 第3章 サービス設定のリファレンス

本章では、負荷分散を使用するオーバークラウドの特定サービスの設定について説明します。この設定は、外部ロードバランサーを設定するためのガイドとして使用します。パラメーターの詳細は、コントローラーノード（または haproxy パッケージがインストールされているシステム）の `/usr/share/doc/haproxy-*/configuration.txt` にある「HAProxy 設定マニュアル」を参照してください。



### 注記

ほとんどのサービスは、デフォルトのヘルスチェック設定を使用します。

- 連続する2つのヘルスチェックの間隔は2000ミリ秒（2秒）に設定されます。
- ヘルスチェックに2回成功すると、サービスは稼働状態とみなされます。
- ヘルスチェックに5回失敗すると、サービスは dead（停止）と見なされます。

各サービスは、各サービスの **Other information** セクションのデフォルトのヘルスチェックまたは追加のオプションを示します。

### 3.1. AODH

ポート番号：8042

バインド先：internal\_api、external

ターゲットネットワーク/サーバー：overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報：

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例：

```
listen aodh
  bind 172.16.20.250:8042
  bind 172.16.23.250:8042
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8042 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8042 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8042 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.2. CEILOMETER

ポート番号：8777

バインド先：internal\_api、external

ターゲットネットワーク/サーバー：overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報：

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

**HAProxy の例 :**

```
listen ceilometer
bind 172.16.20.250:8777
bind 172.16.23.250:8777
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

**3.3. CINDER**

ポート番号 : 8776

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

**その他の情報 :**

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

**HAProxy の例 :**

```
listen cinder
bind 172.16.20.250:8776
bind 172.16.23.250:8776
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8776 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8776 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8776 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

**3.4. GLANCE\_API**

ポート番号 : 9292

バインド先 : storage、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 のストレージ

**その他の情報 :**

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

**HAProxy の例 :**

```
listen glance_api
bind 172.16.23.250:9292
bind 172.16.21.250:9292
server overcloud-controller-0 172.16.21.150:9292 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.21.151:9292 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.21.152:9292 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.5. GLANCE\_REGISTRY

ポート番号 : 9191

バインド先 : internal\_api

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen glance_registry
bind 172.16.20.250:9191
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:9191 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:9191 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:9191 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.6. GNOCCHI

ポート番号 : 8041

バインド先 : internal\_api、external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen gnocchi
bind 172.16.20.250:8041
bind 172.16.23.250:8041
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8041 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8041 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8041 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.7. HEAT\_API

ポート番号 : 8004

バインド先 : internal\_api、external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

- このサービスは、デフォルトの TCP モードの代わりに HTTP モードを使用します。

#### HAProxy の例 :

```
listen heat_api
bind 172.16.20.250:8004
bind 172.16.23.250:8004
mode http
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8004 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8004 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8004 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.8. HEAT\_CFN

ポート番号 : 8000

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

#### その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

#### HAProxy の例 :

```
listen heat_cfn
bind 172.16.20.250:8000
bind 172.16.23.250:8000
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8000 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.152:8000 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.151:8000 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.9. HEAT\_CLOUDWATCH

ポート番号 : 8003

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

#### その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

#### HAProxy の例 :

```
listen heat_cloudwatch
bind 172.16.20.250:8003
bind 172.16.23.250:8003
```

```
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8003 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8003 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8003 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.10. HORIZON

ポート番号 : 80

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する
- このサービスは、デフォルトの TCP モードの代わりに HTTP モードを使用します。
- このサービスは、UI との対話に cookie ベースの永続性を使用します。

HAProxy の例 :

```
listen horizon
bind 172.16.20.250:80
bind 172.16.23.250:80
mode http
cookie SERVERID insert indirect nocache
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:80 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:80 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:80 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.11. KEYSTONE\_ADMIN

ポート番号 : 35357

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen keystone_admin
bind 172.16.23.250:35357
bind 172.16.20.250:35357
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:35357 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:35357 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:35357 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.12. KEYSTONE\_ADMIN\_SSH

ポート番号 : 22

バインド先 : internal\_api

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen keystone_admin_ssh
bind 172.16.20.250:22
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:22 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:22 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:22 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.13. KEYSTONE\_PUBLIC

ポート番号 : 5000

バインド先 : internal\_api、external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen keystone_public
bind 172.16.20.250:5000
bind 172.16.23.250:5000
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:5000 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:5000 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:5000 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.14. MYSQL

Port Number: 3306

バインド先 : internal\_api

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :



- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用します。ただし、ヘルスチェックにはポート 9200 が使用されます。
- このサービスは、1度に1つのサーバーにのみ負荷分散されます。
- 各サーバーは、他のすべての非バックアップサーバーが利用できない場合にのみ負荷分散に使用されます。
- サーバーがダウンしていると、すべての接続が即座に終了します。
- 両サイドで TCP keepalive パケットの送信を有効にします。
- HTTP プロトコルを有効にしてサーバーの正常性でチェックします。
- スティックテーブルを設定して IP アドレスを保存します。これは永続性を維持するのに役立ちます。



### 重要

mysql サービスは、Galera を使用して高可用性のデータベースクラスターを提供します。Galera は **アクティブ/アクティブ** 設定をサポートしていますが、ロックの競合を避けるためにロードバランサーにより強制された **アクティブ/パッシブ** を使用することを推奨します。

#### HAProxy の例 :

```
listen mysql
bind 172.16.20.250:3306
option tcpka
option httpchk
stick on dst
stick-table type ip size 1000
timeout client 0
timeout server 0
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:3306 backup check fall 5 inter 2000 on-marked-down
shutdown-sessions port 9200 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:3306 backup check fall 5 inter 2000 on-marked-down
shutdown-sessions port 9200 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:3306 backup check fall 5 inter 2000 on-marked-down
shutdown-sessions port 9200 rise 2
```

## 3.15. NEUTRON

ポート番号 : 9696

バインド先 : internal\_api、external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

#### その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

#### HAProxy の例 :

```
listen neutron
bind 172.16.20.250:9696
bind 172.16.23.250:9696
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:9696 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:9696 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:9696 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.16. NOVA\_EC2

ポート番号 : 8773

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen nova_ec2
bind 172.16.20.250:8773
bind 172.16.23.250:8773
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8773 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8773 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8773 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.17. NOVA\_METADATA

ポート番号 : 8775

バインド先 : internal\_api

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen nova_metadata
bind 172.16.20.250:8775
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8775 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8775 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8775 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.18. NOVA\_NOVNCPROXY

ポート番号 : 6080

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する
- デフォルトの分散方法はラウンドロビンです。ただし、このサービスでは **source** メソッドが使用されます。このメソッドは、ソース IP アドレスをハッシュし、実行中のサーバーの重みの合計で除算します。これにより、要求を受信するサーバーが指定されます。これにより、サーバーが終了/起動しない限り、同じクライアント IP アドレスは常に同じサーバーに到達します。実行中のサーバー数の変更によりハッシュの結果が変更されると、バランサーは多くのクライアントを別のサーバーにリダイレクトします。

HAProxy の例 :

```
listen nova_novncproxy
bind 172.16.20.250:6080
bind 172.16.23.250:6080
balance source
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:6080 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:6080 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:6080 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.19. NOVA\_OSAPI

ポート番号 : 8774

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、 overcloud-controller-1、 および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen nova_osapi
bind 172.16.20.250:8774
bind 172.16.23.250:8774
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8774 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8774 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8774 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.20. NOVA\_PLACEMENT

ポート番号 : 8778

バインド先 : internal\_api、 external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen nova_placement
bind 172.16.20.250:8778
bind 172.16.23.250:8778
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8778 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8778 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8778 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.21. PANKO

ポート番号 : 8779

バインド先 : internal\_api、external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

HAProxy の例 :

```
listen panko
bind 172.16.20.250:8779
bind 172.16.23.250:8779
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8779 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8779 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8779 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 3.22. REDIS

ポート番号 : 6379

バインド先 : internal\_api (redis サービス IP)

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 の internal\_api

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用します。
- **tcp-check** send/expect シーケンスを使用してヘルスチェックを実行します。送信する文字列は "info\ replication\r\n" で、応答は "role:master" です。
- Redis サービスは認証にパスワードを使用します。たとえば、HAProxy 設定は、**tcp-check** と

**AUTH** メソッドおよび Redis 管理パスワードを使用します。通常、director は無作為にパスワードを生成しますが、カスタムの Redis パスワードを定義することができます。詳細は、「[ロードバランシングオプションの設定](#)」を参照してください。

- デフォルトの分散方法はラウンドロビンです。ただし、このサービスでは、**最初**のメソッドを使用します。これにより、利用可能な接続スロットを持つ最初のサーバーが接続を受け取るようになります。

#### HAProxy の例 :

```
listen redis
bind 172.16.20.249:6379 transparent
balance first
option tcp-check
tcp-check send AUTH\r\n p@55w0rd!\r\n
tcp-check send PING\r\n
tcp-check expect string +PONG
tcp-check send info\r\n replication\r\n
tcp-check expect string role:master
tcp-check send QUIT\r\n
tcp-check expect string +OK
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:6379 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:6379 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:6379 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

### 3.23. SWIFT\_PROXY\_SERVER

ポート番号 : 8080

バインド先 : storage、external

ターゲットネットワーク/サーバー : overcloud-controller-0、overcloud-controller-1、および overcloud-controller-2 のストレージ

その他の情報 :

- 各ターゲットサーバーはデフォルトのヘルスチェックを使用する

#### HAProxy の例 :

```
listen swift_proxy_server
bind 172.16.23.250:8080
bind 172.16.21.250:8080
server overcloud-controller-0 172.16.21.150:8080 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.21.151:8080 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.21.152:8080 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

## 第4章 オーバークラウドの設定

本項では、外部ロードバランサーを使用するオーバークラウドを作成するプロセスを実行します。これには、ノードの登録、ネットワーク設定、オーバークラウドの作成コマンドに必要な設定オプションの設定が含まれます。

### 4.1. 環境の設定

このセクションでは、『[director のインストールと使用方法](#)』の「プロセスのカットダウンバージョン」を使用します。

以下のワークフローを使用して環境を設定します。

- ノード定義のテンプレートを作成して director で空のノードを登録します。
- 全ノードのハードウェアを検査します。
- 手動でノードをロールにタグ付けします。
- フレーバーを作成してロールにタグ付けします。

#### 4.1.1. stack ユーザーの初期化

stack ユーザーとして director ホストにログインし、以下のコマンドを実行して director の設定を初期化します。

```
$ source ~/stackrc
```

このコマンドでは、director の CLI ツールにアクセスする認証情報が含まれる環境変数を設定します。

#### 4.1.2. ノードの登録

ノード定義のテンプレート(`instackenv.json`)は JSON 形式のファイルで、ノード登録用のハードウェアおよび電源管理の情報が含まれています。以下に例を示します。

```
{
  "nodes":[
    {
      "mac":[
        "bb:bb:bb:bb:bb:bb"
      ],
      "cpu":"4",
      "memory":"6144",
      "disk":"40",
      "arch":"x86_64",
      "pm_type":"pxe_ipmitool",
      "pm_user":"admin",
      "pm_password":"p@55w0rd!",
      "pm_addr":"192.0.2.205"
    },
    {
      "mac":[
        "cc:cc:cc:cc:cc:cc"
      ],
    }
  ]
}
```

```

    "cpu": "4",
    "memory": "6144",
    "disk": "40",
    "arch": "x86_64",
    "pm_type": "pxe_ipmitool",
    "pm_user": "admin",
    "pm_password": "p@55w0rd!",
    "pm_addr": "192.0.2.206"
  },
  {
    "mac": [
      "dd:dd:dd:dd:dd:dd"
    ],
    "cpu": "4",
    "memory": "6144",
    "disk": "40",
    "arch": "x86_64",
    "pm_type": "pxe_ipmitool",
    "pm_user": "admin",
    "pm_password": "p@55w0rd!",
    "pm_addr": "192.0.2.207"
  },
  {
    "mac": [
      "ee:ee:ee:ee:ee:ee"
    ],
    "cpu": "4",
    "memory": "6144",
    "disk": "40",
    "arch": "x86_64",
    "pm_type": "pxe_ipmitool",
    "pm_user": "admin",
    "pm_password": "p@55w0rd!",
    "pm_addr": "192.0.2.208"
  }
]
}

```

テンプレートを作成したら、stack ユーザーのホームディレクトリーにファイルを保存し (/home/stack/instackenv.json)、それを director にインポートします。これを実行するには、以下のコマンドを使用します。

```
$ openstack overcloud node import ~/instackenv.json
```

このコマンドでテンプレートをインポートして、テンプレートから director に各ノードを登録します。

カーネルと ramdisk イメージを全ノードに割り当てます。

```
$ openstack overcloud node configure
```

director でのノードの登録、設定が完了しました。

### 4.1.3. ノードのハードウェアの検査

ノードの登録後に、各ノードのハードウェア属性を確認します。以下のコマンドを実行して、各ノードのハードウェア属性を検証します。

```
$ openstack overcloud node introspect --all-manageable
```



### 重要

ノードは **manageable** の状態である必要があります。このプロセスが最後まで実行されて正常に終了したことを確認してください。ベアメタルノードの場合には、通常 15 分ほどかかります。

#### 4.1.4. ノードの手動でのタグ付け

各ノードのハードウェアを登録、検査した後は、特定のプロファイルにノードをタグ付けします。これらのプロファイルタグにより、ノードがフレーバーに照合され、そのフレーバーはデプロイメントロールに割り当てられます。

ノード一覧を取得して UUID を把握します。

```
$ openstack baremetal node list
```

特定のプロファイルにノードを手動でタグ付けするには、各ノードの `properties/capabilities` パラメーターに `profile` オプションを追加します。たとえば、3つのノードが `Controller` プロファイルを使用し、1つのノードが `Compute` プロファイルを使用するようにタグ付けするには、以下のコマンドを使用します。

```
$ openstack baremetal node set 1a4e30da-b6dc-499d-ba87-0bd8a3819bc0 --property capabilities="profile:control,boot_option:local"
$ openstack baremetal node set 6faba1a9-e2d8-4b7c-95a2-c7fbdc12129a --property capabilities="profile:control,boot_option:local"
$ openstack baremetal node set 5e3b2f50-fcd9-4404-b0a2-59d79924b38e --property capabilities="profile:control,boot_option:local"
$ openstack baremetal node set 58c3d07e-24f2-48a7-bbb6-6843f0e8ee13 --property capabilities="profile:compute,boot_option:local"
```

`profile:compute` および `profile:control` オプションを追加することで、適切なプロファイルにノードをタグ付けします。

## 4.2. ネットワークの設定

本項では、オーバークラウドのネットワーク設定を検証します。これには、特定のネットワークトラフィックを使用し、負荷分散オプションでオーバークラウドを設定できるようにサービスを分離することが含まれます。

### 4.2.1. ネットワークの分離

`director` は、分離オーバークラウドネットワークを構成する手段を提供します。つまり、オーバークラウドの環境はネットワークトラフィックの種別を異なるネットワークに分割し、ネットワークトラフィックを特定のネットワークインターフェースまたはボンディングに割り当てます。分離ネットワークの設定後、`director` は OpenStack サービスが分離ネットワークを使用するように設定します。分離ネットワークが設定されていない場合には、すべてのサービスがプロビジョニングネットワーク上で実行されます。



まず、オーバークラウドには、ネットワークインターフェースのテンプレートセットが必要です。これらのテンプレートをカスタマイズして、ロールごとにノードインターフェースを設定します。これらのテンプレートは YAML 形式の標準の Heat テンプレートです。director には、使用を開始するためのテンプレート例が含まれています。

- `/usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/network/config/single-nic-vlans`: ロールごとに VLAN 設定を持つ単一 NIC 用のテンプレートが含まれるディレクトリー。
- `/usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/network/config/bond-with-vlans`: ロールごとにボンディングされた NIC 設定用のテンプレートが含まれるディレクトリー。

ネットワークインターフェースの設定に関する詳しい情報は、『[director のインストールと使用方法](#)』を参照してください。

次に、ネットワーク環境ファイルを作成します。このファイルは、オーバークラウドのネットワーク環境を記述し、ネットワークインターフェース設定テンプレートをポイントする Heat 環境ファイルです。このファイルは、IP アドレス範囲と共にネットワークのサブネットおよび VLAN も定義します。これらの値は、ローカル環境用にカスタマイズすることができます。

このシナリオでは、`/home/stack/network-environment.yaml` として保存された以下のネットワーク環境ファイルを使用します。

```
resource_registry:
  OS::TripleO::BlockStorage::Net::SoftwareConfig: /home/stack/templates/my-overcloud/network/config/bond-with-vlans/cinder-storage.yaml
  OS::TripleO::Compute::Net::SoftwareConfig: /home/stack/templates/my-overcloud/network/config/bond-with-vlans/compute.yaml
  OS::TripleO::Controller::Net::SoftwareConfig: /home/stack/templates/my-overcloud/network/config/bond-with-vlans/controller.yaml
  OS::TripleO::ObjectStorage::Net::SoftwareConfig: /home/stack/templates/my-overcloud/network/config/bond-with-vlans/swift-storage.yaml
  OS::TripleO::CephStorage::Net::SoftwareConfig: /home/stack/templates/my-overcloud/network/config/bond-with-vlans/ceph-storage.yaml

parameter_defaults:
  InternalApiNetCidr: 172.16.20.0/24
  TenantNetCidr: - 172.16.22.0/24
  StorageNetCidr: 172.16.21.0/24
  StorageMgmtNetCidr: 172.16.19.0/24
  ExternalNetCidr: 172.16.23.0/24
  InternalApiAllocationPools: [{'start': '172.16.20.10', 'end': '172.16.20.200'}]
  TenantAllocationPools: [{'start': '172.16.22.10', 'end': '172.16.22.200'}]
  StorageAllocationPools: [{'start': '172.16.21.10', 'end': '172.16.21.200'}]
  StorageMgmtAllocationPools: [{'start': '172.16.19.10', 'end': '172.16.19.200'}]
  # Leave room for floating IPs in the External allocation pool
  ExternalAllocationPools: [{'start': '172.16.23.10', 'end': '172.16.23.60'}]
  # Set to the router gateway on the external network
  ExternalInterfaceDefaultRoute: 172.16.23.1
  # Gateway router for the provisioning network (or Undercloud IP)
  ControlPlaneDefaultRoute: 192.0.2.254
  # The IP address of the EC2 metadata server. Generally the IP of the Undercloud
  EC2MetadataIp: 192.0.2.1
  # Define the DNS servers (maximum 2) for the overcloud nodes
  DnsServers: ["8.8.8.8", "8.8.4.4"]
  InternalApiNetworkVlanID: 201
  StorageNetworkVlanID: 202
```

```

StorageMgmtNetworkVlanID: 203
TenantNetworkVlanID: 204
ExternalNetworkVlanID: 100
# Set to "br-ex" if using floating IPs on native VLAN on bridge br-ex
NeutronExternalNetworkBridge: ""
# Customize bonding options if required
BondInterfaceOvsOptions:
  "bond_mode=balance-tcp lacp=active other-config:lacp-fallback-ab=true"

```

ネットワーク環境設定についての詳しい情報は、『[director のインストールと使用方法](#)』を参照してください。

`keystone_admin_ssh` の仮想 IP に接続できるように、`director` ホストが Internal API ネットワークにアクセスできるようにします。

#### 4.2.2. ロードバランシングオプションの設定

`director` は、外部ロードバランサーが内部で管理する HAProxy ではなく、仮想 IP をホストするオーバークラウドを作成する方法を提供します。この設定では、オーバークラウドのデプロイメントが開始される前に、多数の仮想 IP が外部ロードバランサー（分離ネットワークごとに1つ、ならびに Redis サービス用に1つ）で設定されていることを前提としています。オーバークラウドノードの NIC 設定がそれを許可すると、仮想 IP の一部が同じであることがあります。

前章の設定を使用して、外部ロードバランサーを設定していました。これらの設定には、`director` がオーバークラウドノードに割り当ててサービス設定に使用する IP が含まれます。

外部のロードバランサーを使用するためのオーバークラウド設定が含まれる Heat 環境ファイル (`external-lb.yaml`) の例を以下に示します。

```

parameter_defaults:
  ControlFixedIPs: [{'ip_address':'192.0.2.250'}]
  PublicVirtualFixedIPs: [{'ip_address':'172.16.23.250'}]
  InternalApiVirtualFixedIPs: [{'ip_address':'172.16.20.250'}]
  StorageVirtualFixedIPs: [{'ip_address':'172.16.21.250'}]
  StorageMgmtVirtualFixedIPs: [{'ip_address':'172.16.19.250'}]
  RedisVirtualFixedIPs: [{'ip_address':'172.16.20.249'}]
  # IPs assignments for the Overcloud Controller nodes. Ensure these IPs are from each respective
  # allocation pools defined in the network environment file.
  ControllerIPs:
    external:
      - 172.16.23.150
      - 172.16.23.151
      - 172.16.23.152
    internal_api:
      - 172.16.20.150
      - 172.16.20.151
      - 172.16.20.152
    storage:
      - 172.16.21.150
      - 172.16.21.151
      - 172.16.21.152
    storage_mgmt:
      - 172.16.19.150
      - 172.16.19.151
      - 172.16.19.152
    tenant:

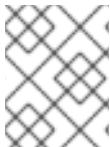
```

```
- 172.16.22.150
- 172.16.22.151
- 172.16.22.152
# CIDRs
external_cidr: "24"
internal_api_cidr: "24"
storage_cidr: "24"
storage_mgmt_cidr: "24"
tenant_cidr: "24"
RedisPassword: p@55w0rd!
ServiceNetMap:
  NeutronTenantNetwork: tenant
  CeilometerApiNetwork: internal_api
  AodhApiNetwork: internal_api
  GnocchiApiNetwork: internal_api
  MongoDBNetwork: internal_api
  CinderApiNetwork: internal_api
  CinderIscsiNetwork: storage
  GlanceApiNetwork: storage
  GlanceRegistryNetwork: internal_api
  KeystoneAdminApiNetwork: internal_api
  KeystonePublicApiNetwork: internal_api
  NeutronApiNetwork: internal_api
  HeatApiNetwork: internal_api
  NovaApiNetwork: internal_api
  NovaMetadataNetwork: internal_api
  NovaVncProxyNetwork: internal_api
  SwiftMgmtNetwork: storage_mgmt
  SwiftProxyNetwork: storage
  HorizonNetwork: internal_api
  MemcachedNetwork: internal_api
  RabbitMqNetwork: internal_api
  RedisNetwork: internal_api
  MysqlNetwork: internal_api
  CephClusterNetwork: storage_mgmt
  CephPublicNetwork: storage
  ControllerHostnameResolveNetwork: internal_api
  ComputeHostnameResolveNetwork: internal_api
  BlockStorageHostnameResolveNetwork: internal_api
  ObjectStorageHostnameResolveNetwork: internal_api
  CephStorageHostnameResolveNetwork: storage
```

**parameter\_defaults** セクションには、OpenStack 上の各ネットワークの仮想 IP および IP 割り当てが含まれます。これらの設定は、ロードバランサーのサービスごとに同じ IP 設定と一致する必要があります。本セクションでは、Redis サービス(**RedisPassword**)の管理パスワードも定義します。このセクションには、各 OpenStack サービスを特定のネットワークにマッピングする **ServiceNetMap** パラメーターも含まれています。負荷分散設定には、このサービスの再マッピングが必要です。

### 4.3. ロードバランシング用の SSL の設定

デフォルトでは、オーバークラウドはサービスに暗号化されていないエンドポイントを使用します。これは、オーバークラウドの設定に、エンドポイントに対して SSL/TLS を有効化するための追加の環境ファイルが必要であることを意味します。



## 注記

外部ロードバランサーに SSL 証明書とキーのコピーがインストールされていることを確認します。

内部ロードバランサーを持つオーバークラウドは、Heat テンプレートコレクションからの **enable-tls.yaml** 環境ファイルを使用して、鍵と証明書のペアをインストールします。外部ロードバランサーにはこのファイルは必要ありません。ただし、オーバークラウドには引き続き SSL/TLS エンドポイントの一覧が必要です。IP アドレスまたはドメイン名を使用してパブリックエンドポイントにアクセスするかどうかに応じて、以下の環境ファイルを使用します。

- パブリックエンドポイントへのアクセスに DNS 名を使用する場合には、**/usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/tls-endpoints-public-dns.yaml** を使用します。
- パブリックエンドポイントへのアクセスに IP アドレスを使用する場合には、**/usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/tls-endpoints-public-ip.yaml** を使用します。

自己署名証明書を使用するか、または証明書の署名者がオーバークラウドイメージのデフォルトのトラストストアにない場合は、その証明書をオーバークラウドイメージに挿入します。Heat テンプレートコレクションから **inject-trust-anchor.yaml** 環境ファイルをコピーします。

```
$ cp -r /usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/inject-trust-anchor.yaml
~/templates/.
```

このファイルを編集して、下記のパラメーターに以下の変更を加えます。

### SSLRootCertificate

**SSLRootCertificate** パラメーターにルート認証局ファイルの内容をコピーします。以下に例を示します。

```
parameter_defaults:
  SSLRootCertificate: |
    -----BEGIN CERTIFICATE-----
    MIIDgzCCAmugAwIBAgIJAKk46qw6ncJaMA0GCSqGSIb3DQEBCwUAMFgxGzAJBgNV
    ...
    sFW3S2roS4X0Af/kSSD8mIBBTFTCMBAj6rtLBKLaQblxEplzrgvp
    -----END CERTIFICATE-----
```



## 重要

この認証局の内容に新しく追加する行は、すべて同じレベルにインデントする必要があります。

### OS::TripleO::NodeTLSCADData

**OS::TripleO::NodeTLSCADData:** のリソース URL を絶対 URL に変更します。

```
resource_registry:
  OS::TripleO::NodeTLSCADData: /usr/share/openstack-tripleo-heat-
  templates/puppet/extraconfig/tls/ca-inject.yaml
```

DNS ホスト名を使用して SSL/TLS でオーバークラウドにアクセスする場合には、新しい環境ファイル (`~/templates/cloudname.yaml`) を作成して、オーバークラウドのエンドポイントのホスト名を定義します。以下のパラメーターを使用してください。

### CloudName

オーバークラウドエンドポイントの DNS ホスト名

### DnsServers

使用する DNS サーバー一覧。設定済みの DNS サーバーには、パブリック API の IP と一致する設定済みの CloudName のエントリーが含まれている必要があります。

以下は、このファイルの内容の例です。

```
parameter_defaults:
  CloudName: overcloud.example.com
  DnsServers: 10.0.0.1
```

「[オーバークラウドの作成](#)」のデプロイメントコマンド (`openstack overcloud deploy`) は、`-e` オプションを使用して環境ファイルを追加します。本項の環境ファイルは、以下の順序で追加します。

- SSL/TLS エンドポイントが含まれる環境ファイル (`tls-endpoints-public-dns.yaml` または `tls-endpoints-public-ip.yaml`)
- DNS ホスト名を設定する環境ファイル (`cloudname.yaml`)
- ルート認証局を注入する環境ファイル (`inject-trust-anchor.yaml`)

以下に例を示します。

```
$ openstack overcloud deploy --templates [...] -e /usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/tls-endpoints-public-dns.yaml -e ~/templates/cloudname.yaml -e ~/templates/inject-trust-anchor.yaml
```

## 4.4. オーバークラウドの作成

外部のロードバランサーを使用するオーバークラウドを作成する場合には、`openstack overcloud deploy` コマンドに追加の引数を指定する必要があります。以下に例を示します。

```
$ openstack overcloud deploy --templates -e /usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/network-isolation.yaml -e ~/network-environment.yaml -e /usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/external-loadbalancer-vip.yaml -e ~/external-lb.yaml --control-scale 3 --compute-scale 1 --control-flavor control --compute-flavor compute [ADDITIONAL OPTIONS]
```

上記のコマンドは、以下のオプションを使用します。

- `--templates`: デフォルトの Heat テンプレートコレクションからオーバークラウドを作成します。
- `-e /usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/network-isolation.yaml` 追加の環境ファイルをオーバークラウドデプロイメントに追加します。ここでは、リソースネットワーク分離の設定を初期化する環境ファイルを追加します。
- `-e ~/network-environment.yaml`: 追加の環境ファイルをオーバークラウドデプロイメントに追加します。ここでは、前のステップで作成したネットワーク環境ファイルです。

- `-e /usr/share/openstack-tripleo-heat-templates/environments/external-loadbalancer-vip.yaml`: 追加の環境ファイルをオーバークラウドデプロイメントに追加します。ここでは、外部負荷分散設定を初期化する環境ファイルを追加します。ネットワーク設定ファイルの後に、この環境ファイルを追加する必要があります。
- `-e ~/external-lb.yaml`: 追加の環境ファイルをオーバークラウドデプロイメントに追加します。ここでは、外部ロードバランサー設定が含まれる環境ファイルです。ネットワーク設定ファイルの後に、この環境ファイルを追加する必要があります。
- `--control-scale 3` - コントローラーノードを3つにスケールリングします。
- `--compute-scale 3` - コンピュートノードを3つにスケールリングします。
- `--control-flavor` コントロール: コントローラーノードに特定のフレーバーを使用します。
- `--compute-flavor compute`: コンピュートノードに特定のフレーバーを使用します。

### 注記

オプションの完全な一覧を表示するには、以下を実行します。

```
$ openstack help overcloud deploy
```

パラメーターの例については、『[director のインストールと使用方法](#)』も併せて参照してください。

オーバークラウドの作成プロセスが開始され、director によりノードがプロビジョニングされます。このプロセスは完了するまで多少時間がかかります。オーバークラウドの作成のステータスを確認するには、stack ユーザーとして別のターミナルを開き、以下のコマンドを実行します。

```
$ source ~/stackrc
$ heat stack-list --show-nested
```

## 4.5. オーバークラウドへのアクセス

director は、director ホストからオーバークラウドに対話するための設定を行い、認証をサポートするスクリプトを作成します。director は、このファイル `overcloudrc` を stack ユーザーのホームディレクトリに保存します。このファイルを使用するには、以下のコマンドを実行します。

```
$ source ~/overcloudrc
```

これにより、director ホストの CLI からオーバークラウドと対話するために必要な環境変数が読み込まれます。director のホストとの対話に戻るには、以下のコマンドを実行します。

```
$ source ~/stackrc
```

## 4.6. オーバークラウド設定の完了

これでオーバークラウドの作成が完了しました。

高可用性クラスターのフェンシングについては、『[director のインストールと使用方法](#)』を参照してください。

作成後の機能については、『[director のインストールと使用方法](#)』を参照してください。

## 付録A HAPROXY のデフォルト設定例

以下は、オーバークラウドのコントローラーノード上の HAProxy のデフォルト設定ファイルの例です。このファイルは、各コントローラーノードの `/etc/haproxy/haproxy.conf` にあります。

```
global
  daemon
  group haproxy
  log /dev/log local0
  maxconn 10000
  pidfile /var/run/haproxy.pid
  user haproxy

defaults
  log global
  mode tcp
  retries 3
  timeout http-request 10s
  timeout queue 1m
  timeout connect 10s
  timeout client 1m
  timeout server 1m
  timeout check 10s

listen aodh
  bind 172.16.20.250:8042
  bind 172.16.20.250:8042
  mode http
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8042 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8042 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.252:8042 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen ceilometer
  bind 172.16.20.250:8777
  bind 172.16.23.250:8777
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8777 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen cinder
  bind 172.16.20.250:8776
  bind 172.16.23.250:8776
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8776 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8776 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8776 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen glance_api
  bind 172.16.23.250:9292
  bind 172.16.21.250:9292
  server overcloud-controller-0 172.16.21.150:9292 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.21.151:9292 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.21.152:9292 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen glance_registry
  bind 172.16.20.250:9191
```



```
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:9191 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:9191 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:9191 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

#### listen gnocchi

```
bind 172.16.23.250:8041
bind 172.16.21.250:8041
mode http
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8041 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8041 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8041 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

#### listen heat\_api

```
bind 172.16.20.250:8004
bind 172.16.23.250:8004
mode http
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8004 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8004 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8004 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

#### listen heat\_cfn

```
bind 172.16.20.250:8000
bind 172.16.23.250:8000
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8000 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.152:8000 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.151:8000 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

#### listen heat\_cloudwatch

```
bind 172.16.20.250:8003
bind 172.16.23.250:8003
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8003 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8003 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8003 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

#### listen horizon

```
bind 172.16.20.250:80
bind 172.16.23.250:80
mode http
cookie SERVERID insert indirect nocache
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:80 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:80 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:80 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

#### listen keystone\_admin

```
bind 172.16.23.250:35357
bind 172.16.20.250:35357
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:35357 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:35357 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:35357 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

#### listen keystone\_admin\_ssh

```
bind 172.16.20.250:22
server overcloud-controller-0 172.16.20.150:22 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-1 172.16.20.151:22 check fall 5 inter 2000 rise 2
server overcloud-controller-2 172.16.20.152:22 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

```
listen keystone_public
  bind 172.16.20.250:5000
  bind 172.16.23.250:5000
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:5000 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:5000 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:5000 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen mysql
  bind 172.16.20.250:3306
  option tcpka
  option httpchk
  stick on dst
  stick-table type ip size 1000
  timeout client 0
  timeout server 0
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:3306 backup check fall 5 inter 2000 on-marked-down
  shutdown-sessions port 9200 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:3306 backup check fall 5 inter 2000 on-marked-down
  shutdown-sessions port 9200 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:3306 backup check fall 5 inter 2000 on-marked-down
  shutdown-sessions port 9200 rise 2

listen neutron
  bind 172.16.20.250:9696
  bind 172.16.23.250:9696
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:9696 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:9696 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:9696 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen nova_ec2
  bind 172.16.20.250:8773
  bind 172.16.23.250:8773
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8773 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8773 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8773 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen nova_metadata
  bind 172.16.20.250:8775
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8775 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8775 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8775 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen nova_novncproxy
  bind 172.16.20.250:6080
  bind 172.16.23.250:6080
  balance source
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:6080 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:6080 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:6080 check fall 5 inter 2000 rise 2

listen nova_osapi
  bind 172.16.20.250:8774
  bind 172.16.23.250:8774
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8774 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8774 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8774 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

```
listen nova_placement
  bind 172.16.20.250:8778
  bind 172.16.23.250:8778
  mode http
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8778 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8778 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8778 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

```
listen panko
  bind 172.16.20.250:8779 transparent
  bind 172.16.23.250:8779 transparent
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:8779 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:8779 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:8779 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

```
listen redis
  bind 172.16.20.249:6379
  balance first
  option tcp-check
  tcp-check send AUTH\r\n p@55w0rd!\r\n
  tcp-check send PING\r\n
  tcp-check expect string +PONG
  tcp-check send info\r\n replication\r\n
  tcp-check expect string role:master
  tcp-check send QUIT\r\n
  tcp-check expect string +OK
  server overcloud-controller-0 172.16.20.150:6379 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.20.151:6379 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.20.152:6379 check fall 5 inter 2000 rise 2
```

```
listen swift_proxy_server
  bind 172.16.23.250:8080
  bind 172.16.21.250:8080
  server overcloud-controller-0 172.16.21.150:8080 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-1 172.16.21.151:8080 check fall 5 inter 2000 rise 2
  server overcloud-controller-2 172.16.21.152:8080 check fall 5 inter 2000 rise 2
```